

福岡市スポーツ振興の取組みについて

令和2年度の主な事業

1. スポーツでこころとからだの健康づくり

(1) 福岡マラソンの開催【市民局】

市民スポーツの振興及び地域の活性化を図るため、福岡マラソン 2020 を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止。

【開催予定日時】 11月8日（日） 8:10 車いす競技スタート

8:20 マラソン／ファンランスタート

【種目】

・マラソン(42.195km) ・車いす競技(5.2km) ・ファンラン(5.2km)

【コース】

<マラソン>

福岡市中央区天神（渡辺通り天神交差点）付近をスタートし、糸島市交流プラザ志摩館付近をフィニッシュとするコース

<車いす競技・ファンラン>

福岡市中央区天神（渡辺通り天神交差点）付近をスタートし、福岡市博物館付近をフィニッシュとするコース

【定員】

・マラソン：12,000人 ・車いす競技：20人 ・ファンラン：2,000人

(2) 「健康づくりフェスタふくおか」の開催【保健福祉局】

市民が自分に合った健康づくりを見つけ、ウォーキング等誰でも気軽に参加できる多彩なイベントを2日間にわたり実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ開催見送り。

(3) サブウェイ・ダイエット【交通局】

「駅まで歩く、駅から歩く。」をスローガンに、地下鉄利用による環境への貢献や駅まで歩くことによる健康づくりなどのライフスタイルを提案し、地下鉄の利用促進を図るプロモーション活動。

- 地下鉄駅を起点とした沿線ウォーキングコースを冊子や WEB で紹介
- (公財)九州交響楽団と連携したウォーキング BGM の WEB 配信等を実施



2. スポーツで仲間ときずなづくり

(1) 「市民総合スポーツ大会」の開催【市民局】

市民スポーツへの関心と参加意識を高め、市民スポーツの普及・振興を促進するとともに、市民の健康増進と体力の向上を図り、活力に満ちた明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として開催する。

なお、総合開会式は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ開催見送り。

(2) 福岡市スポーツ少年団事業【市民局】

子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供し、スポーツを通じた青少年の健全育成を図る。

(3) スポーツビュッフェ・プロジェクト【市民局】

子どもたちがスポーツと出会い、スポーツを始めるきっかけとなる機会を提供し、スポーツに親しむ子どもたちの数を増やしていく。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ開催見送り。

(4) 児童生徒の体力向上の推進【教育委員会】

児童生徒の体力実態・体力課題の把握と体力の向上を図る。

- 体力向上のための指導者研修会
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止。
【開催予定日】令和3年1月21日（木）
【開催場所】福岡市教育センター
【内 容】講演：鹿児島大学 與儀 幸朝^{よぎ ゆきとも} 講師
- 新体力テスト実技研修会
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止。
【開催予定日】令和2年4月30日（木）
【開催場所】福岡市総合体育館
【対 象】各小・中学校教師
- スポーツ指導員派遣
ダンス等の実技指導を行うスポーツ指導員を、希望する中学校20校に派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ見送り。
- 小学校体育科学習実技指導員派遣
「陸上競技」「水泳」「器械運動」「ボール運動」領域で、希望する小学校40校に派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ見送り。

3. スポーツで夢と希望あふれる活力ある都市づくり

(1) スポーツコミッション事業【市民局】

国際スポーツ大会や全国レベルの大会の開催地、合宿地としての招致・支援。

なお、スウェーデン・ノルウェーのナショナルチームの合宿受入・支援については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期に伴い事前合宿も延期。

(2) 国際スポーツ大会の開催【市民局】

福岡市で開催される国際スポーツ大会の開催準備・気運醸成を行う。

○ 世界水泳選手権（2022年）の開催準備等

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期に伴い2022年に延期。

・ 第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会

【期間】2022年5月13日（金）～5月29日（日）

【会場】

■ ウォーターフロントエリア

マリンメッセ福岡A館：競泳、アーティスティックスイミング

マリンメッセ福岡B館：水球

福岡国際センター：飛込

■ シーサイドももちエリア

オープンウォータースイミング、ハイダイビング

【参加者数】約190か国・地域、約2,400人（想定）

・ 第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2022九州大会

【期間】2022年5月31日（火）～6月9日（木）

【会場】

■ 福岡市

マリンメッセ福岡A館，総合西市民プール：競泳

福岡国際センター：飛込

シーサイドももちエリア：オープンウォータースイミング

■ 熊本市

熊本市総合屋内プール：水球

■ 鹿児島市

鹿児島市鴨池公園水泳プール：アーティスティックスイミング

【参加者数】約100か国・地域、約10,000人（想定）

【取組】開催準備の実施，開催時期の変更に伴う各事業の計画見直し，
大会公式ウェブサイトやSNS等を活用した情報発信など



(3) アビスパ福岡支援【市民局】

サッカー教室や市民応援デー等を通じて、市民球団「アビスパ福岡」を支援。

(4) 大相撲九州場所支援事業【市民局】

広報PR、こども観戦招待等を通じて大相撲九州場所（11月場所）を支援する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ会場を東京に変更。

(5) スタージャンプ福岡【市民局】

トップスポーツチームと連携し、子どもたちに種目を越えたスポーツの素晴らしさや体を動かす楽しさを伝える。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ開催見送り。

4. スポーツ活動のための場づくり

(1) 市立体育館・プールの管理運営【市民局】

スポーツを身近に感じることができる施設の管理運営を行うとともに、施設の計画的な改修を行い、安全・安心で、誰もが使いやすい施設を目指していく。



改修・再開館した「ももち体育館」

(2) 学校施設の地域開放【教育委員会】

学校教育に支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動や社会教育の場として学校施設（体育館、運動場等）を開放する。

(3) 歩きたくなるまちづくり【保健福祉局、道路下水道局、区役所】

ウォーキング大会の実施、ウォーキングに関する情報提供。

5. スポーツ活動のための担い手づくり

(1) スポーツ推進委員の育成・活用【市民局】

スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、地域での積極的な活用を図る。

(2) スポーツリーダー・バンク事業【市民局】

市民（サークル等の団体）からの派遣要請に対して、スポーツリーダー・バンクに登録された各種スポーツ・レクリエーションの指導者を、積極的に派遣・紹介するとともに、市民ニーズにあった指導者の確保と資質の向上に努めるため、指導者に対する研修を実施する。